

## 集落営農組織と意見交換

移動知事室で県知事が来市

麻生知事が県民との意見交換を行う移動知事室が11月26日に開催され、市内のイチゴハウスや農事組合法人を訪問しました。

農業は市の基幹産業ですが、高齢化と担い手不足は大きな課題。また、農業の集約化や法人化が進む中での戸別所得補償制度の導入など、抱える課題もたくさんあります。

知事は、集落営農組織のリーダーたちと、農業が抱える問題点や農業構造改革の支援策などについて意見交換を行いました。



イチゴ農家の視察で、あまおうを試食する麻生知事

## ごみのポイ捨ては許さない

第6回ふくおか川の大掃除

11月21日の日曜日早朝、第6回ふくおか川の大掃除が雷山川の上流、中流、下流域と二丈地区の一貴山川で開催されました。

この日は雷山川清掃実行委員会を構成する各団体からたくさんの方々が参加。実行委員会副会長の塩川直光さん（泉川はまぼうの会会長）のあいさつの後、清掃作業を行いました。

1時間余りの清掃作業でしたが、全体で約60kgのごみが集まりました。



きれいな河川環境を守るために、多くのボランティアが参加

## マラソンで糸島の自然を楽しむ

糸島観に（ミニ）マラソン

可也小学校をスタート・ゴールに11月21日、糸島の自然や景観を走りながら楽しむ、糸島観に（ミニ）マラソンが開催され、市内外から200人のランナーが参加しました。

マラソンは、幣の浜や桜井神社、二見ヶ浦、野北牧場を走り抜けるコース。起伏の激しいコースですが、糸島の魅力もいっぱいです。

タイムを競う人、ゆつくりと楽しんで走る人、走り方はさまざまですが、晴天の初冬の糸島を満喫できるイベントでした。



主催の志摩アスリートクラブの代表者が、スタートの号砲を鳴らす

## 国・地域を越えて楽しく交流

にほんご教室いとしま開校

11月24日、「日本語ひろばいとしま」主催の「にほんご教室いとしま」の開校式が糸島市人権センターで行われました。

この教室は、糸島市に住む外国人を対象に日本語を学びながら交流を深めるといふもの。開校式には、スペインやブラジル、中国など7人の外国人が参加しました。

開校式が終わると、日本語教室のボランティアスタッフと一緒にレクリエーションや茶話会などを行い、交流を深めました。



レクリエーションを通して交流を深めていました

## 九州大学教育学部と連携協力

市教育委員会が覚書を締結

教育力の向上と人間性豊かな地域社会づくりをめざして11月19日、志摩庁舎で九州大学教育学部と市教育委員会が、連携協力に関する覚書を締結しました。

これは、平成17年に旧志摩町教育委員会と九州大学教育学部が連携事業などの実績を踏まえ、改めて、覚書を締結したものです。

今後、院生や九大教職員が学校などに入り、研究活動をとおして、課題の解決を連携して行うことなどが検討されています。



教育分野での連携を図るため、固い握手が交わされた（南教育学部長・左、菊池教育長・右）